

# 自治会活動内での 見守りネットワークの構築

## 国分寺自治会から緒に着いたばかりの事例報告



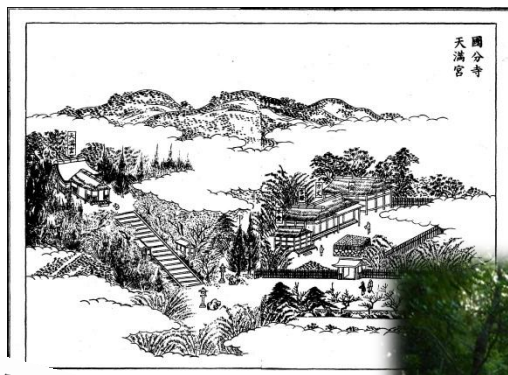
ふれあいいいききサロン



広げよう！  
心と心の結びあい  
自治会館をより身近な茶飲ん場に



日時 平成23年 6月12日  
午後1時から  
場所 国分寺自治会館  
出席者 80歳以上の方



国分寺  
天満宮

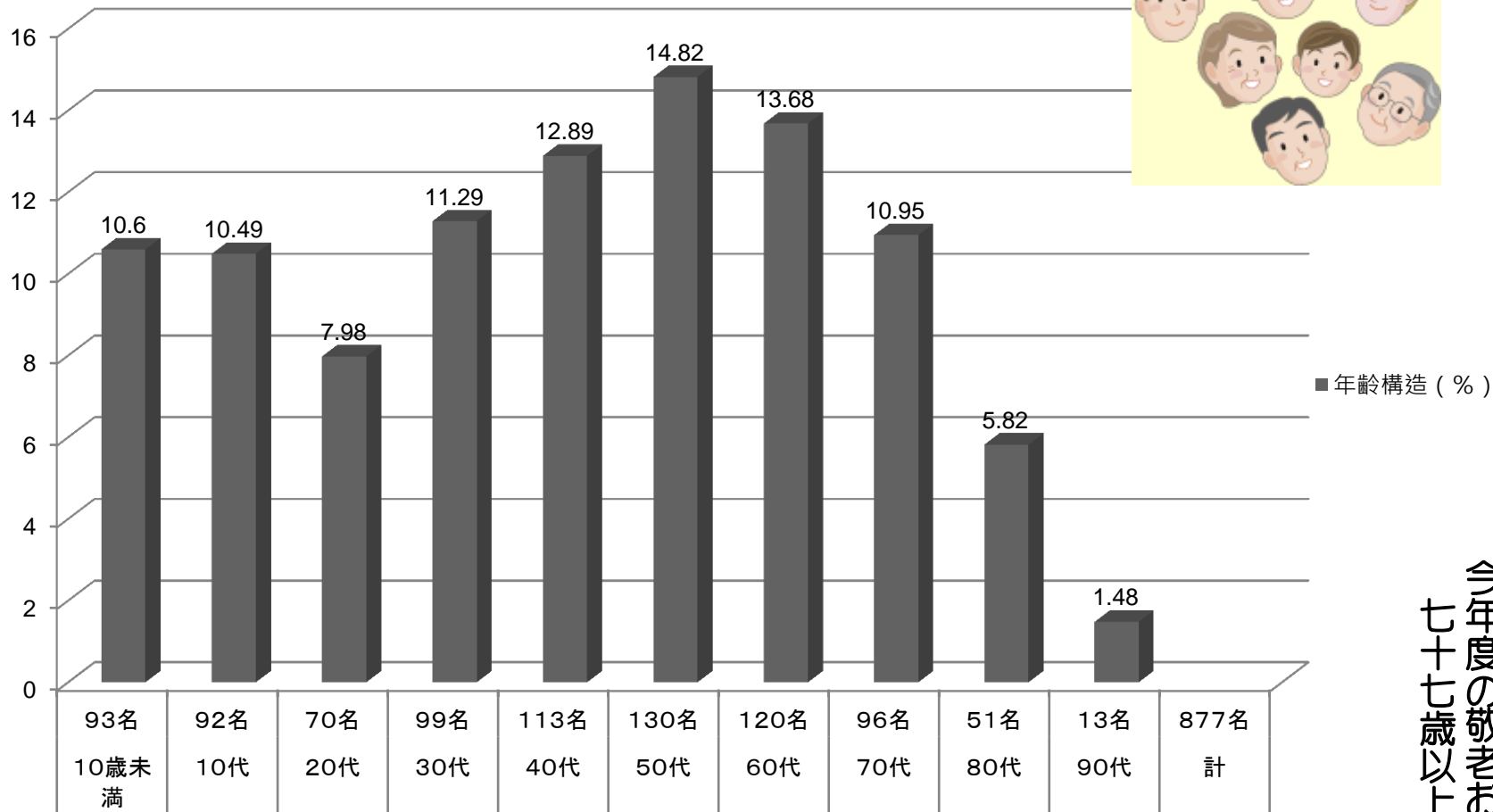
三國名勝図会に描かれている  
自治会館周辺の「国分寺天満宮」



7/24開催の普原神社「夏祭り六月灯」

国分寺自治会長 ロードマン  
平成23年7月30日(土)

# ◆自治会員の年齢構造は



可愛小就学児童は、55世帯75名  
北中就学生徒は、20世帯21名

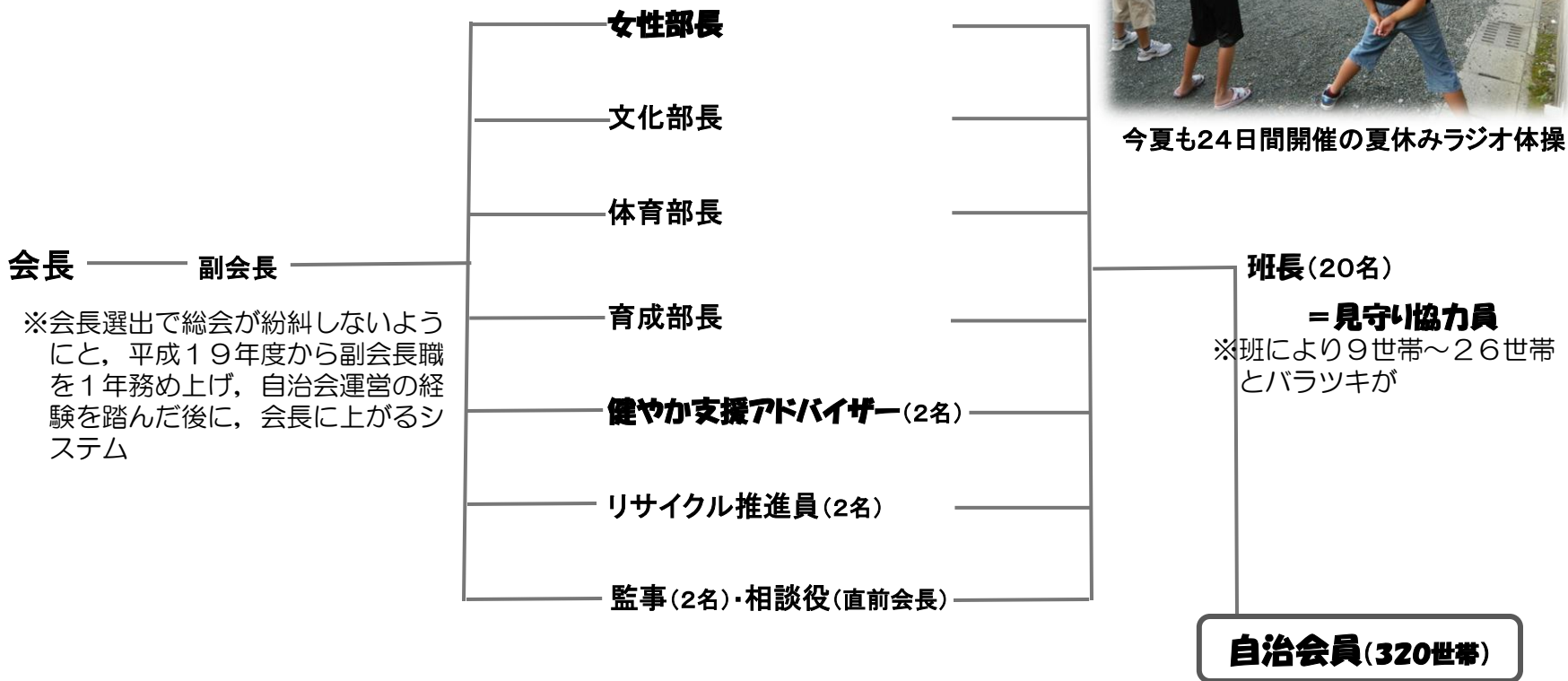
70歳以上は18%の160名

60歳以上は32%の280名  
65歳以上の高齢者は23.5%の206名

※班長職を除く役員免除年齢は、70歳からとしています

今年度の敬老お祝い金は  
七十七歳以上の九十二名に

## ◆ 国分寺自治会組織図



今夏も24日間開催の夏休みラジオ体操

※役員外＝**民生委員・児童委員**，小中評議員・補導員

(自治会役員の位置付けはしてはおりませんが、総会資料及び会員名簿には掲載し紹介しています)

## 自治会規約での職務明示

23年度の総会で規約改正を行い、健やか支援ABも役員に位置付け、班長の見守り協力員兼職を明示しました



今春の自治会総会の様子

### 女性部長

**会員の福祉増進及び女性の教養向上に関すること。**

(第11条第3項第1号)

### 健やか支援アドバイザー

**会員の健康状態の確認及び指導を担当する。**

(規約第11条第5項)

### 班長

**(一部略) 高齢者等に係る見守り協力員を兼ねるものとする。**

(規約第11条第6項第1号)

任期：女性部長＝毎年交替 健やか支援アドバイザー＝複数年 班長＝毎年交替

## ■ 昨年から取り組んだネットワーク構築事例

- ◆見守り協力員(班長)へ取扱い注意でデータの提供 (13名の班長へ22名=1~5名)
- ◆見守り協力員は, 要援護者の要請に応え月2回のリサイクル搬出協力
- ◆見守り協力員から健やか支援アドバイザーに要援護世帯の安否確認報告を 防災訓練の中でも実施
- ◆自治会館を高齢者にも来館しやすいようにと施設の改修  
(屋内外へ手すりの設置・トイレ洋式便座の改修)
- ◆自治会館をより身近な茶飲み場にと「ふれあいいいききサロン」の開催を  
(在宅80歳以上の会員を対象として, 今年度は6月・10月・2月の3回の開催)
- ◆高齢者グループと子供達との交流グラウンドゴルフの開催  
(5月の子供の日の催しとして実施)



# 見回り協力員へのお願い

部外秘

17班々長 ○○ ○○様

平成23年度の班長業務よろしくお願ひいたします。

さて、薩摩川内市の在宅福祉サービスや地域健康づくりの円滑な推進を図るための「健やか支援アドバイザー」の配置に伴い、ご存知のとおり23年度自治会総会において、一部自治会規約の改正が承認され各班長さんに、見守り協力員の兼務が明文化されました。

17班では、次の方が独居高齢者として要援護者の対象者となっております。

文書配付の折等に見回って頂き、積極的な声かけとともに、新聞の溜り等に気を配って頂きます様お願ひいたします。

もし、何か対象者に異常にお気づきになられましたら、民生委員の帖佐和敏さん（3班☎ ）又は貴班を所管される健やか支援アドバイザーの○○ ○子さん（3班☎ ）に速やかにご連絡をお願い致します。独居高齢者へのための見守り協力員としてどうぞ今年度一年間よろしくご協力をお願いいたします。

国分寺自治会々長 桑原 道男

◎活動の頻度（○で囲む） ①毎日 ②週 回 ③月 回 ④その他（状況次第で適宜巡回）

◎ネットワークの形態（○で囲む）

- ①見守り協力員が対象者宅を訪問して安否確認する
- ~~②消息表示旗（スカ＝フ）をたてる~~
- ③要援護者同志が電話で安否確認する

- ④1ヶ所に要援護者を集めて昼食会等を行い合わせて安否確認をする
- ⑤要援護者が窓を開ける、電灯を点けるなどの合図を決めて見守り協力員に示す
- ⑥その他（

No	班	氏名	年齢	住所 電話番号	世帯区分 (○で囲む)	見守り協力員
	17	○○○子	77	国分寺町○○○○ ☎	<u>独居高齢者</u> 高齢者夫婦 身体障害者 その他（ ）	○○ ○○ 17班々長 ○○ ○子 健やか支援アドバイザー

※○○ ○子さんは、月2回のリサイクル搬出お手伝いも希望しておられます。貴班内で隣人へ搬出協力相談をお願いします。

# ■ 取組事例紹介



## ◎ 課題

- 何時かは自分もお世話になるであろうに、まだ『見守り活動』は、民生委員・健やか支援アドバイザーの仕事と考えている隣人会員が多い。

(独居ではあるが、近くの親族が見守るのが先ず筋では?)

- 見守り協力員(班長)の守備対象者に1名~5名と差がある。

(加えて20名の班長中、13班の班長に限られている)

- 「いきいきサロン」への参加は、役員に迷惑を掛けるのではとの遠慮が。

(朝は、狭い筋々がデイ送迎車両で混雑を呈し、郷中の高齢会員が別々のデイ施設に通っておられる現実。あの世に行ってから「アラ久しぶり、長く会わなかったナー」では、いけないでしょう!と、見守り協力員・健やか支援アドバイザーが、案内文書+戸別訪問しての参加の声掛けを)

- 築33年経過した自治会館の改修が、財源不足で完全でない。

(会員の建築士等による「自治会館改修特別委員会」を今年度設置。諮問に応え、来春には改修優先順位を決めて頂き答申を)



# 日本「友人、近所頼れず」

## 国際比較で孤立化浮き彫り

高齢社会白書

政府は、7日午前の閣議で2011年版高齢社会白書を決定した。高齢者の社会的なつながりを国際比較した結果、日本は血縁以外に頼れる近所の人や友人がいる割合が最も低く、国際的にみて社会的孤立が進んでいる実態が明らかになった。

昨年、住民基本台帳などに記載されていないながら所在が分からない高齢者の問題がクローズアップされたが、白書は「日本の高齢者は血縁中心に人間関係を構築しており、近所や友人との関係が希薄」と分析している。

内閣府は、日本と米国、ドイツ、スウェーデン、韓国の60歳以上の人を対象に意識調査。

困った時に同居の家族以外で頼れる人を複数回答で尋ねたところ、日本で「友人」を挙げたのが17.2%、「近所の人」は18.5%で、5カ国中最低。逆に「いない」との回答は20.3%で最も多かった。最も少なかったのはドイツで5.4%。

また、ボランティア活動などへの参加状況は、日本は31.3%で、韓国の17.6%を上回り4位。スウェーデンでは54%が参加していると答えた。

別の調査では、日本の60歳以上で、ボランティア活動への参加を希望する男性が34.6%で、女性の23.9%を上回った。東日本大震災でボランティアへの関心も高まっており、内閣府は「孤立化しやすい男性高齢者の社会参加の有効な手段となりうる」と期待を示している。

65歳以上の人口は10年10月時点で2958万人。総人口に占める割合を示す高齢化率は23.1%で、前年比0.4ポイント増加し、過去最高を更新した。

### 困ったとき同居の家族以外で頼れる人

(60歳以上、複数回答)

	同居の家族・親族	友人	近所の人	いない
日本	60.9	17.2	18.5	20.3
韓国	53.7	18.3	23.1	20.0
米国	63.6	44.6	23.7	10.5
ドイツ	73.7	40.7	38.2	5.4
スウェーデン	58.6	34.9	26.5	9.7